

実証システムの特長

- ・膜分離活性汚泥法による体積効率の高い有機物処理(低コスト、コンパクト)
- ・電解によって窒素とリンの両方を除去するオリジナル技術(低コスト、コンパクト、容易なメンテナンス)
 - ・生物処理に比べ、省スペースで、かつ高速
 - ・管理が容易で、温度や排水量の変動に柔軟に対応
- ・膜分離による効率的なリン酸鉄の回収(低コスト、コンパクト、容易なメンテナンス)

実証項目案

- ・低コスト性: 装置代、電力量
- ・コンパクト性: BOD、T-N、T-Pのそれぞれの容積負荷
- ・メンテナンスの容易性: 必要な管理項目数とその管理時間
- ・環境変化への対応力: 負荷や温度に対するBOD、T-N、T-Pの処理能力

Copyright (C) SANYO Electric Co., Ltd. 2003

実証試験要領に関する要望

- ・商品レベルにない技術の実証に対する支援
- ・試作装置や研究費に対する費用的支援
- ・目安の処理水質に対する窒素とリンの数値導入
- ・処理技術に応じた実証試験場所の紹介
- ・同テーマでの継続的な支援(来年度以降)
- ・小規模事業場(日排水量50m³以下)に排水処理装置が導入されるシナリオの策定

Copyright (C) SANYO Electric Co., Ltd. 2003